

保育計画成果報告書

| | |
|---------|-------------------------------|
| 法人名等 | 社会福祉法人頌栄会 |
| 施設名 | 認定こども園頌栄保育園 |
| 報告者（役職） | 清水 嘉津子（園長） |
| 住所・連絡先 | 神戸市北区鳴子2丁目11-2 |
| | ☎ 078-593-3893 |
| | E-mail shoei-@cello.ocn.ne.jp |

○タイトル（保育計画）

「レンギョウのトンネル」～季節のトンネル

○主な助成備品

レンギョウの苗 30 株・竹材・イチジクの苗木 1 本

1. 保育計画策定の目的

2017年度から認定こども園頌栄保育園（幼保連携型認定こども園）となり、地域に開かれたこども園として、未来を担う子どもたちのための環境をさらに良くしたいと思いました。子どもたちが日常長い時間を過ごす園庭は大切な保育環境のひとつだと考え、10年位前から職員で相談しながら少しずつ園庭の改造に取り組んでいます。いのちの営み、自然の変化を感じられる園庭へ少しずつ改造をすすめているところですが、さらに子どもたちのあそび心を刺激する園庭へと進化させていきたいと思い、申請させていただきました。

2. 具体的な実施内容

園庭の芝山につなげるアーチを作り、そこにレンギョウを植えることで季節によって変化するトンネルを作りました。レンギョウは繁殖力旺盛でよく繁ります。樹高は1～3mまで育ち、半蔓性の枝は湾曲して伸び下に垂れ、地面に接触すると、そこから根を出し新しい株ができます。春には黄色の花を前の年の秋までに伸びた枝に咲かせます。レンギョウはチョウチョが連なることから付いた名前だと言われ、まさしく春を告げてくれる花の一つで、花が終わると芽吹きがやってきます。そして新緑のトンネル、秋には葉を落として明るいトンネルになる。季節で変わるトンネルで生き物の暖かさの中であそぶ体験をして欲しいと思いました。その変化を園庭の中で楽しみながら、子どもたちのあそび場の「エッジ」として活用したいと思います。子どものあそびの中で「エッジ」は落ち着くことが出来る空間です。

またトンネルの向こうに果樹（イチジク）を植え、子どもたちがその実が結ぶまでを日々見ること、収穫して食べること、そして園庭にあそびに来るいろいろな生き物と共生していることを感じて欲しいと思いました。

3. その成果と評価

ちょうど1年前の3月に昨年度の5歳児と4歳児クラス子どもたちを中心に、職員や当日お手伝いに来て下さった保護者数名と一緒に植えました。第一生命財団の方が見学に来て下さった時は秋口で園庭では裸足で遊ぶ子どもたちや、職員の姿もありました。まだ、骨組みのアーチが見えたままではありますが、木香バラのアーチから芝山までの緩やかなカーブがレンギョウのトンネルで結ばれ、そこに子どもたちの世界が広がりました。芝山には大人では通れないほどの小さなトンネルが続いており、子どもたちの冒険スポットにもなっています。



4. 今後の課題と展望

しっかり根付いてはいますが、まだ十分育ちきってはいないので、半蔓性の枝を巻き付けながら、トンネルの形に育てていきたいと思っています。やはり植物は生きているので子どもたちと同じように、目や心を離さずお世話もしながら維持していきたいと思っています。今後は芝山の向こう側にも法面が出来る予定なので、職員と相談しながら子どもたちのあそび場をさらに進化させる仕掛けを作っていきたいと思っています。



限られたスペースですが、園庭に自然が豊かにあること、花が咲き、虫がいて、実が成って、匂いがある、美しい色彩や、逆に枯れていく姿もあって…言葉では教えられない心動かす体験やあそびの中で、子どもたちの豊かな感性が育つことを願っています。

以上